工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられております

TOSHIBA

あかるい明日を技術でひらく

東芝避難口誘導灯 東芝室内通路誘導灯 (電池内蔵)取扱説明書

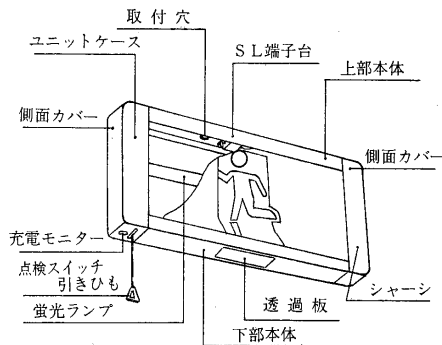
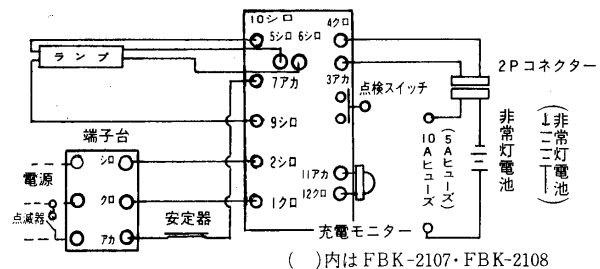
10W. FBK-1107(片面灯)/FBK－1108(両面灯)
20W. FBK-2107(片面灯)/FBK－2108(両面灯)

官電協適合形名	
FBK－1107の時	FBK－2107の時
SH1－FSF10－101	SH1－FSF10－201
SH1－FBF10－101	SH1－FBF10－201
SH1－FPF10－101	SH1－FPF10－201
ST1－FPF12－101	ST1－FPF12－201
FBK－1108の時	FBK－2108の時
SH1－FSF11－101	SH1－FSF11－201
SH1－FPF11－101	SH1－FPF11－201
ST1－FPF13－101	ST1－FPF13－201

このたびは東芝避難口誘導灯・東芝室内通路誘導灯をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●各部のなまえ

●器具の回路図

( )内はFBK-2107・FBK-2108

●特にご注意を

①この器具は天井などの丈夫な所に取り付けてください。薄い天井板などに取り付けますと、ねじ止めが弱く、引きひもを強くひっぱったときや振動などで器具が落下するもとになります。
②器具の改造やランプ及び電池以外の部品の交換は、絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。
③三ヵ月に一回、定期的に非常点灯を行ない点検カードにその結果を記入してください。
(下の点検カードを切り取って使用してください)
④定期点検の際の性能確認で点灯持続時間が20分以下の場合には、内蔵の電池を交換してください。交換電池は、**小形用(10W):2NR-CU-LE.中形用(20W):3NR-CU-LE**です。
交換した古い電池はすてないで、お買い求め先またはお近くの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
⑤ランプ交換の際には、**東芝蛍光ランプ"ネオライン"小形用(10W):FL10W.中形用(20W):FL20S・W**とご指定ください。
⑥この器具は、5°C～35°Cの範囲で使用するよう設計してあります。取り付けの際は、ご注意ください。
⑦点検スイッチの引きひもを引きますと、非常電源に切り替わり、非常点灯を確認できます。

(充電モニター)の取扱方法

＊充電中は緑色の充電モニターが常に点灯しています。
＊充電回路の故障、電源のコネクターはずれ、平常電源の開放のような場合にはモニターランプは点灯しませんので容易にチェックできます。

東芝避難口・室内通路誘導灯点検カード

点検責任者

設置　年　月　日　設置場所

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	
・ ・	外観　切替　性能		・ ・	外観　切替　性能	

●保守点検方法

①光源、本体など外観の汚れを確認してください。
②充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
③充電モニターが消灯しているときは、電池は充電されていません。不点の原因を確認のうえ処理してください。
④非常点灯の性能チェックをするときは一昼夜以上通電し、十分充電したのち、平常電源をしゃ断して非常点灯に切り替えてください。
⑤非常点灯の状態を確認してください。また、器具の外観も点検してください。20分経果後非常点灯しているかどうか再び確認してください。
⑥充電モニターが点灯していないとき及び非常点灯が20分持続しないときは、確認のうえ、適切な処理をしてください。

切り取って必ず保存してください

●器具の取り付け方

①片面灯を壁に取り付ける場合には、専用の壁直付金具FBA-12(別売)を先に、木ねじ又はボルトで壁に取り付け、本体内側より２個の飾りナットで確実に締め付けて固定してください。また天井に取り付ける場合、器具の前面方向矢印と専用の天井直付金具FA-12(別売)に刻印してあります前面方向矢印との向きを合せ、先に天井直付金具を木ねじ又はボルトで天井に取り付け、本体内側より２個の飾りナットで確実に締め付け固定してください。

②両面灯を取り付ける場合も片面灯と同様に、別売の天井直付金具を使用して前面矢印方向の向きを合せ、器具を取り付けてください。

③片面灯、両面灯とも、パイプ吊りには専用のパイプ吊り装置(PW-326.PW-526.PW-826)が用意してありますので別途ご用命ください。

④FBK-1107. FBK-1108を１本吊りする場合、パイプ吊り装置（PW-311N. PW-511N. PW-811N)と天井直付金具FA-12を組合せてご使用ください。

⑤FBK-2107. FBK-2108はパイプによる１本吊りはできません。

⑥片面灯、両面灯とも、電源線を引き込み器具上面の端子台に結線してください。天井または壁と直付金具カバーの間にすき間があかないよう、じゅうぶんに電源線を押し込んでください。(図５)

⑦電池のコネクターをユニットケースへ接続してください。結線の際には、電池ホルダー及び透過板の線まとめのスペースにリード線を押し込み、影ができないように固定してください。(図３)

⑧表示板を、下図の要領で器具にはめ込んでください。

⑨取り付けが終了しましたら、器具が正常に動作するか、保守点検の要領をご参照のうえ、充電モニターの点灯確認と点検スイッチを引いて非常点灯の確認をしてください。

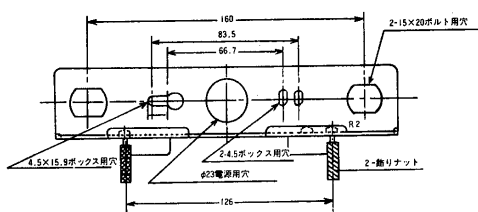



図１ FBA-12(別売)　図２ FA-12（別売）

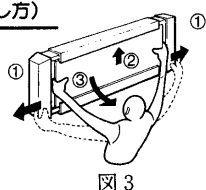
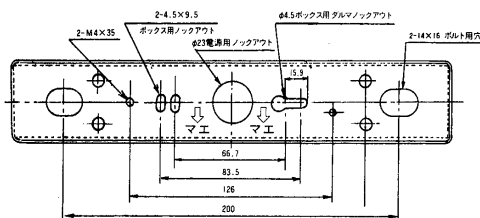
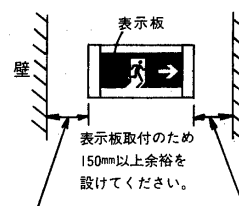
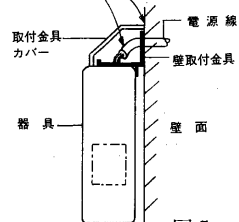



図３　図４　図５

●配線方法

①器具の端子台は図のように結線してください。電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。

②配線方法は原則として２線引配線です。３線引配線を行なう場合には、所轄の消防局(庁)の了解を得てください。

③電池の放電を防ぐためにコネクターをはずしてありますので、ご使用の際には電源通電後コネクターを差し込んでください。

④３線引配線の場合には、ＳＬ端子台に付属の短絡コードを、あらかじめ取り外して結線してください。

（２線引配線の場合）

（３線引配線の場合）

●お手入れのしかた

①器具のお手入れは、必ず電池のコネクターをはずし、平常電源を切ってから行なってください。

②器具が汚れたときは、やわらかい布をせっけん水に浸し、よくしぼってからふきとってください。

③ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。

④金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。

⑤ランプは取りはずしてから乾いた布でふいてください。

⑥ランプは端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。

●修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電池のコネクターを取りはずしてから、平常電源を切って、お買いあげの工事店(販売店)または、お近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名および、お買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社　〒108　東京都港区三田1丁目4番28号(三田国際ビル)
施設事業部　TEL (03) 457-6110

(003183A)